

## うちの ko-chin 倍増計画！

今回は枚方市にある「心学塾作業所」さんを紹介します。心学塾作業所さんは 1990 年に無認可作業所としてスタートされました。現在は就労継続支援 B 型と生活介護との多機能型事業所として 24 人の利用者さんが元気に通われています。

人々、地域の中であたりまえに生きるということを大切に活動を続けてこられていて、作業所の中でも重度の人は多いのですが仕事をベースに日々の活動を組んでおられます。取材に伺った時も施設長さん、職員さん、利用者さんとみなさんがとても積極的に仕事に取り組まれていました。さて、工賃は最低月額 1 万円から多い人だと 2 万円ぐらいになるそうです。働くことを大切にされているため利用者さん自身の工賃に対する意識も高く、工賃をもらえば服を買ったり、欲しい物を買うなど楽しみにしている人も多いとか・・・。

社会福祉法人心愛 心学塾作業所  
〒573-0146 枚方市大峰元町 1-21-5  
TEL 072-859-9194  
FAX 072-859-9195

「わたしの工賃が上がらないのはなぜ?」「あの人よりも低いのはなぜ?」という問い合わせを職員さんにしてこられる方もいらっしゃるそうです。そこではその人自身がどう仕事に取り組んだのかということを振り返りながらお話をされるそうです。そこでまた利用者さん自身が目標を持って仕事に取り組まれるということでした。

さて、心学塾作業所さんは昨年度のコンペティションの食品(クッキー)部門で最優秀賞をとられましたが、製菓に取り組まれてまだ 5 年ほどというから驚きです。製菓をはじめたきっかけを伺うと、以前はバザー販売をしても受託製品がほとんどだったそうで、「何か自主製品もつくろうよ」ということになりました。ただ市内にはクッキー作りに取り組む施設も多く、競合を避けるためラスク作りにしようか、パイを主力にしようかといろいろ試行錯誤もあったそうです。そのような中でクッキーで受賞されたことはたいへんな喜びになったようです。今年度は金色の最優秀賞のシールを貼ってどんどん売り先を広げていこうと計画中です!

※表紙の写真は、クッキーを作る作業風景です。



## 新授産事業の報告

### 農業



新鮮野菜  
どれどれ市!

### 清掃

お掃除屋さんになって  
まちに出よう!



2011 年 3 月 27 日(日)に八尾市久宝寺緑地公園で、最近話題の軽トラックを活用した軽トラ市「新鮮野菜どれどれ市」を開催しました。

当日は青空の下、「Happy Earth Day OSAKA 2011」も開催されていて、多くのお客様が来場されていました。トラックを店舗に採れたての野菜を販売した 4 施設はなんと 4 時間で完売! 「東京から来たお客様に八尾の葉ごぼうを購入してもらい感激した」といううれしい声も聞かれました。今回は畑に緑が少ない季節でしたが、次回は野菜がたくさん採れる時期に開催しますので、みなさんのご参加をお待ちしています。



地域清掃では第 4 回研究会として、ミニシンポジウム「お掃除屋さんになってまちに出よう!」を 2011 年 3 月 16 日(水)にアネックスパル法円坂で開催しました。

16 施設が参加され、実際に地域清掃に取り組んでいる“就労移行支援センター pass(パス)”の岡松さんと“くらしといきがい・にじ”的藤本さんから具体的な話を聞きました。そして、後半は参加者からのニーズが多い「営業の方法」と「見積り作成」のワークショップを行いました。「営業の方法」では、ビルのオーナーに営業に行くことを想定したロールプレイを行い、「見積り作成」ではビルメン企業の方と実際に見積りを作成してみるという、実践に即役立つノウハウ満載の内容でした。参加された方からも「とても役に立った」との声が寄せられました。

## 受発注事業部

### 出店者募集

#### イトキン(株) ファミリーセール

来客想定数は 1 日 2500 人  
連日で出店できる作業所さん

出店日 6 月 24 日(金)、25 日(土)  
出店時間 11:00 ~ 15:00  
出店場所 イトキン マキシ一館 4 階(大阪市中央区)  
販売物品 パン、クッキー、焼き菓子等  
※パンは 100 円均一で販売できる商品をお願いします。  
締切り 5 月 23 日(月)



イトキン出店風景

※全てのお申込みは、  
工賃引上げ計画シート  
提出済みの施設・作業  
所が対象となります。

国内観測史上最大の東北地方太平洋沖地震の発生により、東北地方、北関東地方を中心に甚大な被害を及ぼしており、まさに未曾有の危機が日本を襲っています。加えて、原発事故に端を発する電力の供給不足問題は日本経済に深刻な打撃を与え、日本全体の経済活動はもとより、私たちの授産活動にも影を落とす事態となりうる状況となっています。こうした厳しい時世にある中で、工賃倍増プロジェクトはいよいよ最終年となりました。これまで皆様と一緒に積み上げた努力を実らせ有終の美を飾るべく、私ども受発注コーディネーターに課せられた役割を最後まで全うし、工賃倍増に向けてこれまで以上の覚悟で臨んでまいります。

受発注コーディネーターの役割は、作業所の「できる仕事」「やりたい仕事」と、企業などからの「出したい仕事」「やってほしい仕事」をマッチングし、思いがけない出会いをコーディネートすることが最大の任務あります。残された時間の中で、一件でも多くの出会いを提供するために、従来からお取り引きいただいている得意様からの受注拡大と、新たな顧客獲得に向けた新規開拓に懸命に取り組んでまいりますので、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

〔受発注コーディネーター一同〕

## アンケートにご協力ください!

## 工賃プロジェクトの これからについて



早いもので、国の「工賃倍増 5 か年計画」が始まって 4 年が経過しました。大阪は全国で最も工賃が低い(当時 7,990 円)といわれる中で、私たちは、タウンミーティング等を通じて何度も議論を重ね、「大阪の作業所の現実に合った支援策をつくろう!!」と呼びかけ努力してきました。

経営コンサルタントや技術指導者の派遣、工賃倍増カフェ、工賃倍増フェスタ、経営・技術セミナー、受発注コーディネーターの派遣や共同受注システムの構築・・・。

そんな中で、大阪府庁のパンやさん、インクカートリッジの回収と仕分け作業、オフィス街での「ミディ・マルシェ」など、全国的にも最先端を行く多くの取り組みが定着してきました。

ここで、この 4 年間の取り組みを施設・作業所の皆さんと一緒にふり返り、よかった点、悪かった点、今後改善すべき点を明らかにするため、アンケート調査を実施したいと考えています。

5月初めに皆様のお手元に「工賃倍増 5 か年計画」改定に関わる事業効果及びニーズ調査と題したアンケートをお送りしますので、ぜひ忌憚のないご意見・ご希望をお聞かせください。よろしくお願ひいたします。

